

第1回 瑞穂市地域公共交通会議・会議録

日 時 平成22年9月6日(月) 午前10時から正午
場 所 瑞穂市役所穂積庁舎 3階大会議室
出席委員 会長 倉内 文孝 副会長 迫田 義一
富田 尚之 山田 芳喜
野田 寧宏 西村 盛夫
棚橋 和子 古田 勝
中島喜久夫 伊藤 靖
福富 保文 澤原 鹿人
成瀬 幸子(森嶋 和美代理) 豊田 正利

欠席委員 東海 龍毅

事務局 総務部長 早瀬 俊一 総務課長 広瀬 充利
総括課長補佐 伊藤 巧 課長補佐 小森 順子
主 査 野田 秀樹

傍聴人 0人

1. 開 会

(事務局) 只今から第1回瑞穂市地域公共交通会議を開催いたします。

2. 会長あいさつ

昨年度に引き続き会長を務めさせていただきます。

昨年度は、路線の延伸、バス停名の変更等を議論いたしました。

今年度も、利用者、それぞれの関係機関の視点から使いやすいコミュニティバスの運行について議論を進めていきたいと思っておりますので、ご協力をお願いします。

3. 委員の委嘱

(今年度から委員をお願いするかたへ市長より委嘱状を交付)

4. 市長あいさつ

瑞穂市の地域公共交通について、委員の皆様には格別のご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

今回は、みずほバス等の乗車料金について、ご意見を賜り、ご協議をいただけたらと思います。

今後も瑞穂市の公共交通、みずほバスにつきまして、格別なるご指導を賜りますようお願いをいたしまして、私のあいさつとさせていただきます。

5. 議 事

(会長[議長]) みなさん、よろしく申し上げます。

〈会議に関する確認事項〉

- ・会議録の要点筆記
- ・発言委員の氏名公表

・会議録の確認は会長・副会長で行う

それでは、議事に入りたいと思いますが、今回は新しい委員さんがいらっしゃることもありますので、簡単に瑞穂市の地域公共交通の現状やみずほバスの概要、昨年度の決定事項について事務局より説明願います。

(事務局) **資料1**及び「みずほバス路線図・時刻表[A3版]」をご覧ください。

「瑞穂市の地域公共交通の現状」を説明

- ・美江寺・穂積線を紫色で表示
⇒ 巢南庁舎⇔JR岐阜駅
- ・大野・穂積線を薄青色で表示
⇒ みずほターミナル⇒大野バスセンター⇒JR穂積駅
- ・朝日大学スクールバスをピンク色で表示
⇒ JR穂積駅⇔朝日大学間を無料で運行
- ・本田・馬場線を赤色で表示
- ・牛牧・十七条線を緑色で表示
- ・鷺田・船木線を青色で表示
- ・穂積・リオワールド線を黄色で表示
⇒ 平成22年7月12日より小児運賃、障がい者割引運賃を適用。

※鉄道、タクシー等について説明

「みずほバスの概要」を説明

- ・本田・馬場線、牛牧・十七条線、鷺田・船木線、穂積・リオワールド線について
⇒ 先の地域公共交通会議にて、牛牧・十七条線においてプラント6まで延伸することを決定いただき、平成22年4月1日より運行を開始しております。
利用者数も牛牧・十七条線については4月から増加が見られます。

(会長[議長]) それでは、議事に入りたいと思います。「みずほバスの乗車料金について」事務局より説明願います。

(事務局) **資料2**をご覧ください。まず、みずほバス、穂積リオワールド線の誤申請に伴う返金の経緯を岐阜バスの富田委員より説明していただきます。

(富田委員) 穂積リオワールド線は、岐阜バスの路線バスとして運行しておりますが、料金をみずほバスと同じ100円にしておりました。実は、今年の6月頃に利用者から、どうして路線バスなのに小児運賃や障がい者割引運賃が適用されていないのですかというお問い合わせがありました。その時点では、この路線については、特別な割引を設けておりませんとお答えしておりましたが、その後、当時、提出しました資料等を調べましたら、小児運賃及び障がい者割引運賃を適用するという文言が入ったまま届け出がされていたことが発覚いたしました。つまり、平成16年5月1日から平成22年3月31日までの間にお乗りいただいた小児及び障がい者の方には、半額でお乗りいただかなければならなかったということになります。

また、みずほバスについても同様の届け出がされていたわけですが、今年の4月から実施しているプラント6への路線延長に伴って新路線での認

可申請を出させていただき、その時に運賃についても改めて届け出をさせていただきました。よって新しい運賃の届け出には、この文言は入っておりません。

したがって、みずほバスの平成16年5月1日から平成22年3月31日までの期間、穂積リオワールド線の平成16年5月1日から平成22年7月11日までの期間に利用された小児運賃又は障がい者割引運賃が適用されたお客様には、証明をお持ちいただければ、その金額を払い戻させていただくことになりました。瑞穂市役所や名鉄岐阜駅のバスターミナル、岐阜西営業所にて対応させていただきましたところ、平成22年8月31日までに返金させていただいた方の数が、みずほバスでは12件、返金させていただいた金額は611,100円になりました。穂積リオワールド線では8件、返金させていただいた金額は178,500円となり、全体では789,600円になりました。

現在の運行は、みずほバスは、平成22年4月1日より新しい届出をしていますので割引は行わない一律100円で未就学児無料、穂積リオワールド線は、一般100円、小児運賃、障がい者割引運賃の適用者には半額で利用していただいている状況になっております。

(事務局)

以上のことから現在、みずほバスは一律100円で未就学児無料、穂積リオワールド線も100円なのですが、小児、障がい者の方については半額で運行しています。

資料3をご覧ください。他の市町のコミュニティバスの運行状況についてまとめた資料です。

ホームページからの抜粋ですので、若干違いがあるかもしれませんが、瑞穂市と同じような料金体系をとっている市町としては、大垣市さん、高山市さん、多治見市さん、中津川市さん、美濃市さん、恵那市さん、土岐市さん、各務原市さん、山県市さん、飛騨市さん、郡上市さん、下呂市さん、笠松町さん、輪之内町さん、揖斐川町さん、御嵩町さんがあります。

このように見ていくと、一律100円の市町が多くあり、当市としましても、ワンコインでの料金で統一する方で考えております。

ちなみに資料ではお配りしておりませんが、返金状況から計算をさせていただきますと、

$$\begin{array}{r} 789,600 \text{円} \cdots \cdots \text{返金総額} \\ \div \quad \quad \quad 7 \text{年} \cdots \cdots \text{平成16年から平成22年} \\ \hline 112,800 \text{円} \cdots \cdots \text{一年の返金額} \\ \div \quad \quad \quad 50 \text{円} \cdots \cdots \text{割引金額} \\ \hline 2,256 \text{人} \cdots \cdots \text{一年の割引運賃の利用者数} \\ \div \quad \quad \quad 365 \text{日} \cdots \cdots \text{一年の日数} \\ \hline \text{約} 6.18 \text{人} \cdots \cdots \text{一日の割引運賃の利用者数} \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 97,409 \text{人} \cdots \cdots \text{平成21年度のみずほバス、穂積リオワ} \\ \div \quad \quad \quad 365 \text{日} \quad \quad \quad \text{ド線の総利用者数} \\ \hline \text{約} 266.87 \text{人} \cdots \cdots \text{一日の利用者数} \end{array}$$

$$6.18 \text{人} \div 266.9 \text{人} \times 100 \div \underline{2.3\%}$$

つまり、一日の総利用者に占める小児運賃、障がい者割引運賃利用者の割合は、おおよそ2.3%になります。

このような状況を踏まえまして、みずほバス、穂積リオワールド線の乗車料金を一律100円で未就学児無料に戻すのか、どの線も小児運賃、障がい者割引運賃を適用するのか、コミュニティバスとしてみずほバスは一律100円で未就学児無料、穂積リオワールド線は路線バスであるから小児運賃、障がい者割引運賃を適用する現状のままとするか、という点につきまして、委員の皆様にご意見を賜りたいと思います。

(会長[議長]) 委員の皆様、ご意見がありましたらお願いします。

(成瀬委員) 一人当たりの赤字額はどれくらいなのか。例えば、市役所が500円くらい税金で負担しているのに100円でいいのかということと、市役所が全く税金で負担していないので100円でいいのかという点で考え方が変わってくるかと思えます。この先、ずっとバスを続けていくのであれば、持続可能な料金にするべきだと思いますが。

(事務局) 瑞穂市の穂積リオワールド線における負担金の額は年間520万円、運賃収入は、全て岐阜バスさんの収入になっています。したがって、今までの一律100円であっても、半額適用になったとしても市としての負担は変わりません。

(事務局・課長) 穂積リオワールド線は、本来の乗車料金ではJR穂積駅からリオワールドまで380円、1区間の短いところでは160円であります。そのような中で一律100円で運行しておりました。つまり、一人あたり100円以上の赤字はあるという考え方になります。

また、みずほバスの負担金の額は年間3,660万円で、一路線における負担額は1,220万円です。したがって、1ヶ月に100万円強負担していることになります。

(山田委員) みずほバスが100円の乗車料金で運行しているので、穂積リオワールド線についても基本的には市の考え方で運行すればよいと考えます。しかし、福祉関係や教育関係でどうしていくかの意見を踏まえて決めていくことが必要でしょう。岐阜バスでは、小児運賃、障がい者割引運賃の適用は制度的に決められているものではあります。市の考え方で乗車料金100円と決められるのであればそれでよいと思います。

(事務局・部長) コミュニティバスは、平成11年よりワンコイン100円で運行をはじめ現在まで同じ料金体系で運行してまいりました。公共交通機関では、半額料金の適用が多く見られることもありますが、資料にもあるとおり、他の自治体においても一律100円での料金設定をしているところも多く見られます。また、議会において、この件に関する説明をしたところ、特に異論、反論等はありませんでした。その旨ご報告いたします。

(会長[議長]) 選択肢は3つあると思います。一つは現状、みずほバスは100円で未就学児無料、穂積リオワールド線が100円であるけども小児、障がい者

は半額運賃を適用する。もう一つは、分かりやすくするためにも全路線100円で未就学児無料にして、半額運賃を適用しない。最後に全路線100円で小児、障がい者は半額運賃を適用する。

どの選択肢であっても、それによって運賃収入が大きく変わることはないとの説明がありました。

岐阜バスさんの方で何かご意見はありますか。

(富田委員) 穂積リオワールド線はJR穂積駅とリオワールドを結ぶ線であり、利用者の利便性を重視して運行しております。一方で、瑞穂市さんの方では、市北西部の交通空白地帯の解消という意味合いをお持ちでしょうから、みずほバスとの整合性を図るということで、これまでは協定を締結して100円で運行してまいりました。運賃についてどうこうは言えませんが、利用者の皆さんに公平に利益を共有していただきたいという意味で返金をいたしました。

要は、利用される方が今回の件で、割引運賃が適用されることとなり、また、適用されなくなることに對して、あれは何だったんだと思われることを心配しております。

(会長[議長]) 市の考えでは、割引運賃を適用するというよりは、より多くの皆さんに利用していただくという趣旨で運行していることから、例えば、運賃200円のところから割引をするよりも、運賃100円にして誰でも乗ってもらうというのを目指しているのだと思います。そうであるならば、ワンコインで統一している方がわかりやすいと言えます。

これについて、住民の方のコメントをいただきたいと思いますが。

(野田委員) 仕事柄いろいろなところへ出向いておりまして、そこで気が付くことは、どこの自治体でも、まず第一に駅前再開発を行っていることです。多治見市や恵那市等がそうです。瑞穂市においても駅前再開発は最優先の課題ではないかと考えます。

バスの100円ワンコインの乗車料金については、もともとが安く設定してあるので、これ以上減免する必要はないと思います。

(西村委員) 私の意見としましては、コミュニティバスはこれまでどおり100円为好かと考えます。また、穂積リオワールド線は路線バスですので、小児運賃、障がい者割引運賃の適用をしてもらおうとどうかと思ひます。コミュニティバスで、障がい者手帳の提示となると運転手さんに負担がかかると思ひますので。

(棚橋委員) 先日、女性の会の会議の席で、会員に意見を聞いてみました。どちらのバスにしても100円で定着していますので、このままでよいという意見が多く見られました。私の意見としてもこれまでどおりの乗車料金でよいと考えます。

(会長[議長]) 他に何かコメントありましたらお願いします。

(迫田委員) みずほバスは、基本的に市が運行するバスであり、福祉バスに近いもの

です。穂積リオワールド線も本来は岐阜バスの路線バスではあるけれども、みずほバスの福祉の趣旨をもったバスとして運行しているのであるから100円でよいかと思います。そうでないと利用者にとっては複雑になります。小児運賃、障がい者割引運賃の趣旨もこの中に含めていると考えれば、そこまでは必要ないのではないかなと思います。

(会長[議長]) 今までのご意見では、みずほバスは100円で、穂積リオワールド線については、100円にするという意見と小児運賃、障がい者割引運賃という意見があるようですが。運輸局さんのご意見は。

(古田委員) もともと穂積リオワールド線につきましても市内を運行するバスということで一律100円という方針であるということを知っていますので、利用者が減ってきているという面からまずは利用促進を第一に考え、将来いずれかの時期に小児運賃、障がい者割引運賃が必要ということになれば、その際に改定をすればよいのではないのでしょうか。

(会長[議長]) 穂積リオワールド線は昨年10月に減便をしていることもあり、利用者数は減ってきています。そういう面では利用促進を考えていかなければならないところではありますが、料金の方はあえて半額適用をするのではなくて、一律100円の乗車料金にする方向で進めたほうがよいのではないかと私も思います。

反対のご意見もいただきましたが、多くの委員の皆様の意見を尊重させていただきまして、穂積リオワールド線につきましても、乗車料金は一律100円、未就学児は無料とするということで決定したいと思います。この議題についてはこれでよろしいでしょうか。

(委員一同異議なし)

(会長[議長]) それでは続きまして、次の議題に移りたいと思います。

(事務局) 資料4をご覧ください。

瑞穂市においても広告掲載要綱が制定され、バスや停留所、待合所などに広告掲載を考えております。

(資料の説明)

他市町の状況も参考にしながら、瑞穂市における広告掲載を進めていきたいと考えておりますので、ご意見をいただきまして、よいお知恵があればお教えいただきたいと思っております。

(富田委員) 岐阜バスでは、バスの中、外、大きさ、期間によって金額を設定し、スポンサーを募って広告を出させていただくことで広告料をいただいています。一つお聞きしたいのは、この金額というのはどちらの収入になりますか。

(事務局) バスの車内外やアナウンス等において行おうと思うと岐阜バスさんにお

願いして行うこととなりますので、岐阜バスさんの収入になります。

待合所や路線図・時刻表等は、市においてスポンサーを選定し運用してまいりますので広告料は市の収入ということになります。

まずは市として、様々なかたちで、少しでも収入を増やすことを目指していきたいと考えております。

(富田委員) 岐阜バスの広告掲載は、当然ながら岐阜バスの所有する車、停留所ということになります。みずほバスは瑞穂市が所有する車ですので、実際に行おうと思うと現実問題として超えなければならないハードルがいくつかあるとは思いますが、しかしながら、岐阜バスとしては積極的に考えていきたい。

(事務局) 業者の選定等は、要綱にあるとおり基準を満たしているものでなければならぬのと、やはり、市内の業者を最優先で選定していきたいという思いがありますので、具体的になってまいりましたら岐阜バスさんとよく協議をさせていただき、進めていきたいと考えております。

(会長[議長]) この件につきまして、他にご意見等ございますか。

(伊藤委員) 県道に停留所がある場合、現在は停留所の占有は無料になっていますが、企業広告等を停留所に掲載するとなると占有料が発生しますし、場合によっては占有許可が出ないこともあります。観光案内等であれば問題はありませんが。

(会長[議長]) 委員の皆様を確認させていただきたいのは、バス等において広告を掲載し、広告料を得て収入につなげていくという方針について、お認めいただけるかということですが、ご意見ございますか。

(中島委員) 岐阜市は、校区別の地域ごとにコミュニティバスが運行しており、「乗って残そう」ということで税金である運行補助だけでなく、税金以外の収入として広告掲載も行い広告料を得ている実態があります。乗車人員が落ち込んだら、路線を維持できなくなることから、市民の皆さんにもバス収入についても真剣に考えてもらわなければならない。そういう意味では、賛成できる場所だと思います。

(会長[議長]) 市民の方に自分たちのバスであるという意識を持ってもらうという点では、よい取り組みであると思います。

他にはいかがでしょうか。マイナスのご意見をいただいていないので、今回のバスに広告を掲載し、広告料を得ていくという点については問題ないと思います。ただ、細かいところでご指摘をいただいた部分を踏まえて、進めていただくということでお願いします。

それでは、議事2はこれで終わらせていただきます。

議事3のその他について事務局からお願いします。

(事務局) 今後は長期的視野に立った瑞穂市の地域公共交通についても協議をお願いしたいと考えておりますので、よろしくお願いたします。

(会長[議長]) 今回は、どちらかという目の前の問題に対してどうするかということでしたが、将来的に瑞穂市の地域公共交通をどうしていくか、どう残していくかも考えていかなければなりません。委員の皆様には、また、慎重なご審議をお願いしたいと思います。

それでは、今日の議事につきましては、全て終了しましたので事務局にお返しします。

(事務局・課長) 本日は熱心に議論をいただきまして、ありがとうございました。これで第1回瑞穂市地域公共交通会議を閉会いたします。